

監督・撮影 青柳拓
撮影・編集 辻井潔
音楽 秋山周
構成・プロデューサー 大津一生
製作 水口屋フィルム、ノンテライコ
配給 ノンテライコ

と拳選

杜木 密 うっ

2022年、参院選に出馬した水道橋博士。
奇跡の当選を目指した一部始終と、
その後の顛末——

Me, we!



Me, We (私はあなたたちだ あなたたちは私だ)

2022年 参院選に急遽出馬した水道橋博士と素人チームは勢いのまま選挙を躍動する奇跡の当選後、誰もが予想しなかった鬱病による辞任の果てに——

【ストーリー】 2022年6月。偶然と必然が重なり急遽、参議院議員選挙にれいわ新選組から立候補することになった水道橋博士。弟子や元・マネージャー、仲間の芸人たちが構成された素人チームは、手探りしつつもドタバタと選挙活動を躍動する。水道橋博士はモハメド・アリの名言「Me We(私はあなたたちだ。あなたたちは私だ)」から民主主義の根幹としての政約を打ち出した。比例代表候補として全国を飛び回り、期間中に起こった“安倍元首相銃撃事件”に翻弄されながらも、奇跡の当選を勝ち取る。晴れやかな国会初登院の場で国会議員としての活躍を誓った3カ月後、水道橋博士は“鬱病”により休職～辞任を余儀なくされるのだが……

【イントロダクション】 偶然にも選挙の“従軍カメラマン”となり選挙活動チームに加わりながら密着撮影したのは『東京自転車節』の青柳拓。持ち前の人懐こいキャラクターを活かしチームの一員となった青柳監督は、内側から選挙活動のディテールを描き出した。一方、水道橋博士の鬱病による休職～辞任とその後追い続けたことによって、数多の選挙ドキュメンタリーとは一線を画す人間ドラマとして本作を完成させ、個人視点から社会を浮かび上がらせる作家性を本作でも発揮。一人の芸人のチャレンジを通して、政治家の根幹である“誰かのために生きること”、一方で鬱病というキーワードから垣間見える、現代社会で重要な“自分のために生きること”を同時に問いかける、私たちのポリティカルドキュメンタリー。



オレ、もう終わっちゃったのかな。



監督・撮影：青柳拓 出演：水道橋博士、町山智浩、三又又三、原田専門家、やした愛、大石あきこ、山本太郎ほか
製作：水口屋フィルム、ノンデライコ/配給・宣伝：ノンデライコ 2025/日本/124分/カラー/DCP

senkyo-to-utsu.com @senkyo_to_utsu @senkyotoutsu



6.28^土 ROADSHOW!

渋谷・文化村前交差点左折
ユーロスペース
EUROSPACE
03-3461-0211 eurospace.co.jp



全国共通券1,500円(税込)絶賛販売中